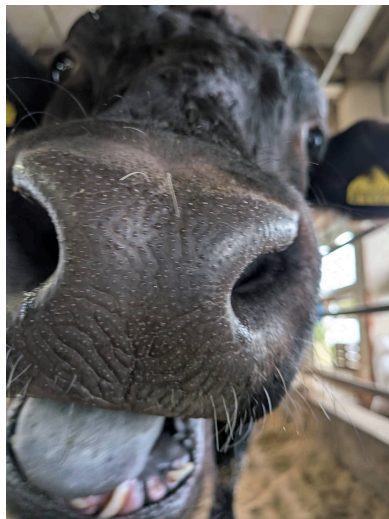


🐮 新年度が始まりました！ 🐮

みなさんこんにちは！中央農業高校酪農部です！新年が始まり、あっという間に4ヶ月が経とうとしています🥲 これからも牛たちのために、日々のお世話や体調管理をしっかりとやっていきます！

今年も例年通り、酪農教育ファームや牛乳の日などのイベントでの活動や文化祭での販売、そして和牛甲子園や農業クラブの各種発表会に出場し、良い結果を得られるように頑張っていきます！



🐮 分娩があります！ 🐮

ジャージー種のジャジャが8月25日にジャージー種を、黒毛和種のつくしが8月30日に黒毛和種を、ホルスタイン種のシナモンスーが9月4日にホルスタイン種を、同じくホルスタイン種のハッカが10月14日に受精卵移植のホルスタイン種を分娩予定です。ぜひ酪農教育ファームに参加して、赤ちゃんを見に来てください！



←黒毛和種の
つくし

ジャージー種
のジャジャ→



ハッカはシナモンスーのお母さんです！

←ホルスタイン種のシナモンスー
↓ホルスタイン種のハッカ



🐮 牛の換毛期 🐮

一部の動物は春と秋の年2回、毛がたくさん抜ける時期があります。これは、換毛期といって、季節の変化に合わせて毛を生え替わらせることで体温調節をする現象です。



冬の毛→



↑夏の毛

写真では少し分りにくいかもしれませんが、このように冬は長くてフサフサな毛になっていますが、夏には密度が低く、短い毛に生え替わります。

牧草について

牛の主食と言えば草です！酪農部では牛の品種やその牛の役割などにより、給与する牧草を変えています。そこで今回は牧草の種類やその牧草の特徴についてお話ししたいと思います！

1. スーダングラス

スーダングラスは主に搾乳牛(乳を作る牛)に与えられます。スーダングラスはイネ科の一年草で成長が早く、短期間でよく伸びるため、コストを抑えた飼料生産ができます。そのため中農では、乾草としてだけでなく、畑でも栽培してサイレージ(乳酸発酵させて長期保存できるもの)に加工して給与しています！嗜好性が比較的高く牛がよく食べるため、乳量維持につながります。



↑スーダンを食べている搾乳牛

2. ルーサン (アルファルファ)

ルーサンは主に成長期の子牛や泌乳期(牛がミルクを出している期間)に与えられます。ルーサンはタンパク質やカルシウムが豊富で骨や筋肉の発達をサポートします。またミルクをたくさん出す牛はルーサンで栄養補給することで乳量・乳質の維持に役立ちます。



↑緑色の草がルーサンです

3. チモシーヘイ

チモシーヘイは主に仔牛や育成期によく給与されます。イネ科の牧草で、寒い土地でも栽培できるので北海道でよく栽培されています。

嗜好性が高いので牛たちの大好物です！

ウサギの餌としても有名なので、ご存知の方もいるのではないのでしょうか？



↑緑色の草がチモシーです

4. イタリアンライグラス

イタリアンライグラスは主に肉牛や子牛に与えられます。栄養価が低いので、育成期に胃袋を大きくするためにたくさん給与します。そうすることで、胃袋が大きくなり、肉や乳を生産するための栄養をたくさん摂取することができるのです。また、イタリアンライグラスは成長が早く、短期間でたくさん収穫できます。中農では青草のまま与えたり、乾燥やサイレージなどにして与えたりすることがあります。



↑イタリアンを食べている紅八

このように、それぞれの牛に合った牧草を与えることで、健康的に成長させることができます。